

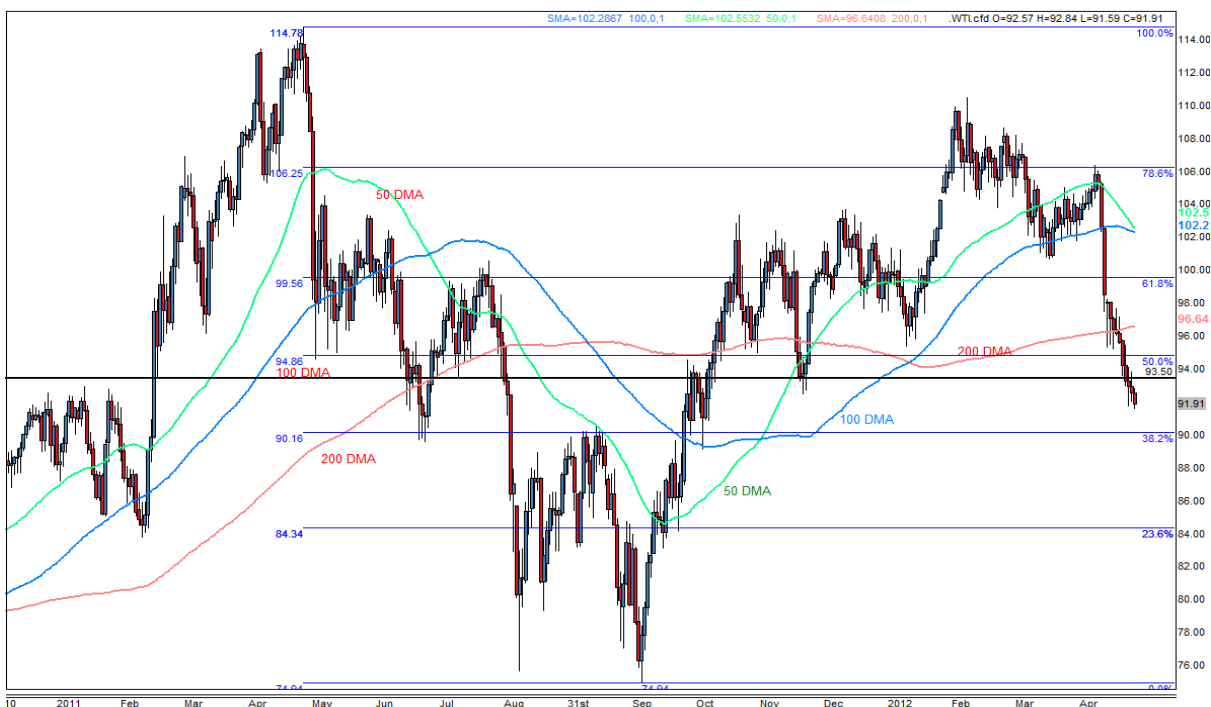
商品 CFD デイリー・コメント (5月18日付)

DAVID MORRISON, GFT

原油 続落

原油先物市場では今日も容赦のない下落が続いた。原油の下落は主な株式市場と軌を一にしている。貴金属市場とは異なり、今月に入って原油と株式には反発らしい反発場面が一切見られない。トレーダーは相変わらずユーロの動静を注視するが、サポートの水準を特定することも、買い需要の潜在を予想することも難しい。投資家は世界経済の見通しについて極度に悲観的になった。ユーロ圏の債務危機は混迷の度を増し、財政緊縮よりも成長 (= 支出) を求める声が強まってはいるが、これにはドイツの方向転換が不可欠である。これに加え中国経済は予想を上回るペースで鈍化しつつあり、米国の景気回復もこれまでになく不透明である。昨日発表されたフィラデルフィア地区連銀製造業景況指数は急落し、消費の落ち込みを示唆した。これらのすべてが将来の原油需要後退を告げている。

WTI 原油 CFD



貴金属
続伸

昨日金と銀は急騰し、世界的な株安とユーロ下落にも関わらず大幅高で引けた。両貴金属は今日も続伸し、中銀の追加緩和に対する期待感が貴金属急騰の背景にあると指摘するアナリストも出始めた。4月のFOMC議事録では、仮に金融市場が一層混乱した場合に量的緩和の実施を支持する委員の数が、前回FOMCの時に比べて増えたことが明らかになった。またECBが6月7日の次回理事会を待たずに行動に出るとの期待も強まっている。もっとも今週は金と銀の双方とも12月に付けた日中安値に最接近したばかりであり、昨日来の反騰はテクニカルな自律反転に過ぎないと指摘する向きもある。いずれにせよ貴金属が今後ユーロと株式とは異なる動きを辿るか否かが注目される。もしそうなれば貴金属は再びセーフヘイブンおよび蓄財手段として脚光を浴びることになるだろう。

金 CFD

銀 CFD


外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。

本レポートの内容は

- ・ 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- ・ マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- ・ レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- ・ 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのようなサービスの必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして日本の金融庁に第一種金融商品取引業者登録をしており（関東財務局長（金商）第268号）、社団法人金融先物取引業協会の加盟業者です（金融先物取引業協会1520号）。www.gftforex.co.jp

© 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず